

藤里町学校教育計画

検討委員会「答申」について

「地区説明会」を実施しました

全国的な少子化が進む中で、校舎の設備等老朽化、学校教育法の改正など教育を取り巻く情勢が大きく変動していることから、より良い教育環境創造のため、藤里小学校及び藤里中学校の再編について、平成28年5月31日、藤里町長より「藤里町学校教育計画検討委員会」に対して諮問書が提出されました。

それを受け、検討委員会では、平成28年度に県内視察を含めて全7回の会議を開催し、本年2月15日、板倉和也会長（現藤里中学校長）より、その内容をとりまとめた答申書が提出されています。

明記された4項目は以下のとおりです。

- 一 小学校及び中学校とその他教育関連施設や事業を、一つのエリア内で展開することが望ましい。
- 二 小・中学校舎の整備に関しては、少子化及び自治体負担の軽減等を図るために一体とすることが望ましいが、その実施年については校舎の老朽化や町財政状況も考慮し、適正な時期を判断していただきたい。
- 三 将来を見据え、小中連携をより一層推進し、条件が整備された後、小中一貫教育に進むことが望ましい。その後、義務教育学校制度等の導入については再度検討をすることが望ましい。
- 四 住民への説明と意見収集を行い、地域との相互理解のもと事業を進めることで、望ましい藤里町の教育を構築していただきたい。

その後、住民の皆様には経緯やその内容について報告すべく、5月16日の矢坂地区から6月6日の北部地区まで、全7地区を訪問しました。

住民からは「学校や幼保、放課後児童クラブなどが一つのエリアにあれば安心できる」、「防災上の観点からは高台が良いのでは」、「街なかにエリアを作ればにぎわいができ、また防犯上も好ましい」など、設置場所についての意見が多く聞かれ、また「校舎が一体になると、小中学校の時間割が異なるため休み時間と授業が重なり影響が出るのでは」、「藤里町には塾がないので、子供の学力向上のためにそれに代わるものを町で取り組めないか」といった質問もありました。



矢坂地区説明会